



非ピリン系解熱鎮痛薬

痛みと熱に **ズバリ**[®] (頭歯利)

使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

1. 次の人は服用しないでください。

(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。

(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。(眠気があらわれることがあります)

4. 服用時は飲酒しないでください。

5. 長期連用しないでください。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。

(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

(3) 水痘(水ぼうそう)もしくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある小児(7歳以上15歳未満)。

(4) 高齢者。

(5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。

(6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

(7) 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。

※裏面も必ずお読みください。

症状の名称	症 状
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくならない場合

効能・効果

- 頭痛・歯痛・神経痛・月経痛（生理痛）・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛
○悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

次の用量をなるべく空腹時をさけて服用してください。

また、服用間隔は6時間以上おいてください。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
15歳以上	1 包	2回を限度とする
7歳以上15歳未満	1／2包	
7歳未満	服用しないこと	

【注意】(1) 定められた用法・用量を厳守してください。

(2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量

1日量(2包)中

成 分	分 量	は た ら き
エテンザミド	1000mg	2つの成分の組み合わせがさまざまな痛み、熱の症状をおさえます。
アセトアミノフェン	600mg	
無水カフェイン	140mg	痛みをおさえる成分の働きを助けます。また、脳血管の緊張をやわらげて、頭痛を鎮めます。
アリルイソプロピルアセチル尿素	120mg	痛みをおさえる成分の働きを助けます。
添加物として、リン酸水素Ca、タルク、無水ケイ酸、クエン酸Ca、黄色5号を含有。		

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変化します)
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- (5) 表示の期限を過ぎたものは服用しないでください。

お客様相談窓口 電話 076-493-5010
月～金（祝祭日を除く） 9時～17時

製造販売元



中央薬品株式会社
富山県富山市西四十物町4-9